

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】令和 4 年 6 月 1 日(2022.6.1)

【公開番号】特開 2020-197866(P2020-197866A)
【公開日】令和 2 年 12 月 10 日(2020.12.10)
【年通号数】公開・登録公報 2020-050
【出願番号】特願 2019-103138(P2019-103138)
【国際特許分類】

G 0 6 F 8 / 4 1 (2 0 1 8 . 0 1)

10

G 0 5 B 1 9 / 0 4 2 (2 0 0 6 . 0 1)

【 F I 】

G 0 6 F 8 / 4 1 1 7 0

G 0 5 B 1 9 / 0 4 2 Z I T

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 5 月 24 日(2022.5.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ソースコードからオブジェクトコードを生成するソフトウェア開発装置であって、
ソースコードの解析結果に基づいて、当該ソースコードに含まれる制約を示すコードを抽出し、当該抽出したコードが示す制約の適用範囲において、当該ソースコードが当該制約に適合しているか否かを評価する評価手段と、
前記制約に適合するようにオブジェクトコードを生成する生成手段とを備える、ソフトウェア開発装置。

30

【請求項 2】

前記生成手段は、前記制約の適用範囲において、前記ソースコードが前記制約に適合していないと評価されると、前記オブジェクトコードの生成を中止する、請求項 1 に記載のソフトウェア開発装置。

【請求項 3】

前記生成手段は、前記制約の適用範囲において、前記ソースコードが前記制約に適合しているか否かを評価できない場合に、前記ソースコードに対応するオブジェクトコードに加えて、当該オブジェクトコードの実行中に、当該制約に適合しているか否かを評価するための別のオブジェクトコードを生成する、請求項 1 または 2 に記載のソフトウェア開発装置。

40

【請求項 4】

前記制約は、前記オブジェクトコードが実行時に利用するリソースに対する制限あるいは規則、前記オブジェクトコードの実行状態に対する制限あるいは規則、前記オブジェクトコードの実行手順に対する制限あるいは規則、ならびに、前記ソースコードに含まれる命令に対する制限あるいは規則のうち、いずれか 1 つを含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載のソフトウェア開発装置。

【請求項 5】

前記評価手段は、前記制約の適用範囲に呼び出し命令が含まれる場合に、当該呼び出し命令により呼び出される命令についても、前記制約に適合しているか否かを評価する、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載のソフトウェア開発装置。

50

【請求項 6】

ソースコードからオブジェクトコードを生成するソフトウェア開発プログラムであって、
前記ソフトウェア開発プログラムはコンピュータに
ソースコードの解析結果に基づいて、当該ソースコードに含まれる制約を示すコードを抽出し、当該抽出したコードが示す制約の適用範囲において、当該ソースコードが当該制約に適合しているか否かを評価するステップと、
前記制約に適合するようにオブジェクトコードを生成するステップとを実行させる、ソフトウェア開発プログラム。

10

20

30

40

50